

口腔周囲の外傷

はじめに

口腔周囲の外傷の原因にはスポーツ時の接触、転倒、交通・作業事故、けんかなどがあります。幼児では箸（写真1）や歯ブラシをくわえて転び受傷することもあります。口や顔の軟らかい部位である軟組織、歯や歯を支えている骨（歯槽骨）、顎の外傷、これらの症例について説明していきます。

写真1 さいばしの外傷



軟組織の外傷

・口唇裂傷

くちびるは赤唇部と呼ばれる赤く見える唇の部分が切れたり（裂傷）、口唇粘膜と呼ばれる内側も歯が当たることで受傷しやすいです。口唇粘膜は赤唇部より軟らかいため傷が口の内と外に交通してしまうこともあります。赤唇部は土など汚染を受けやすいことから感染にも注意が必要です。

・舌裂傷

舌の外傷の原因のほとんどが誤って自身の舌を噛んでしまう咬傷です。舌は筋肉で成っていることから口唇の外傷と比較して出血を多く認めます。縫ってあげることで止血はされ、傷も綺麗に治っていきます。

歯の外傷

・歯の打撲

歯をぶつけた時など、一時的に歯の根の膜（歯根膜）に炎症をおこした場合をいいます。安静で治ります。

・歯冠・歯根破折

外傷や咀嚼で歯冠や歯根に亀裂や破折が起こることがあります。運動時や転倒による破折は前歯に多いです。歯冠の一部破折は詰めものなどで治せますが歯髄を除去したり、縦の破折や歯肉より下で破折する場合は抜歯の適応となることもあります。

・歯の嵌入、脱臼、亜脱臼

歯が歯槽骨のなかにめり込んだ状態を嵌入、歯が完全に抜け落ちる完全脱臼と歯が元の位置とはズレてしまう亜脱臼（写真2）があります。完全脱臼の時は再植が試みられ、嵌入や亜脱臼の場合は元の位置にもどしてから固定します。受傷からの経過時間、脱臼歯の保存状態、歯肉や骨の状態が重要で、脱臼歯を乾燥させないよう「歯の保存液」や「牛乳」につけて出来るだけ早く受診することが必要です。消毒液につけると再植できなくなるので注意が必要です。用意がない場合は口の中に含んで受診すると良いです。術後に歯の色が黒くなったり、ピンク色になった場合、歯の神経は死んでしまっているので治療が必要です。

写真2 歯の脱臼



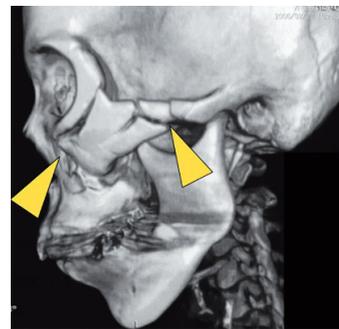
・歯槽骨骨折

強い外傷で歯槽骨が割れてしまうことがあります。併せて歯肉裂傷や歯の脱臼を併発することがあります。骨は血液が豊富なので出血が多いですが折れた歯槽部は元に戻してあげることで生着していきます。

顎骨骨折（写真3）

骨折の症状には骨折部の痛み、腫れがあります。また、出血による皮膚や粘膜の変色や顔面の変形、開口障害、咬合の異常とそれに伴う咀嚼障害などがあります。重症な場合には、全身的な処置を優先的に行います。顎骨骨折の多くは手術が必要です。

写真3 顎骨骨折



おわりに

口腔の外傷は運動で受傷することも多く、予防のためにも運動時にマウスピースを使用すること、受傷後に早く病院を受診することが大切です。

（相模原市歯科医師会 山下 雅子）

第7回 ぱんだの会(NICU家族の会)

～感覚（sensory）ってなあに？～というテーマで、令和元年10月20日（日）午後2時～4時に北里大学で講演会とグループトークを開催します。お問い合わせは北里大学病院トータルサポートセンター（☎042-778-8438）まで。

目の愛護デー記念講演会&無料相談会

（相模原市医師会 眼科医会）

目の愛護デーを記念して、「講演会」および「目の無料相談会」を行います。市民の皆さまのご来場をお待ちしております。

日時 令和元年9月29日（日）午後1～4時

場所 相模原南メディカルセンター 2階 大会議室（相模原市南区相模大野4-4-1）

①講演会 午後1時～2時

演題 『緑内障手術の実際と手術までに行えること』

講師 北里大学医学部眼科 笠原 正行 先生

②目の個別無料相談会 午後2時～4時

費用 無料

申込方法 講演会の参加申込不要

目の個別無料相談を希望される方は、当日の午後0時30分～3時45分まで、会場入り口にて受付を行います。

講演会終了後の午後2時より受付順にお呼びいたします。

問い合わせ 相模原市医師会事務局 総務課 ☎042-755-3311

